

2018年8月22日(水)

今月の「訪問看護リハビリたより」(研修時配布するスタッフへのたより)

倫理的なジレンマを解決し楽しく仕事をする

例年になく厳しい暑さの夏でした。皆さまが熱中症で入院、とかがなくホッとしています。統合による事務処理変更などもあり混乱もあったかと思えます。お疲れ様です。

さてこの季節、看取りが増える時期でもあります。様々な状況・背景の利用者さんに関わる中、看取りのみならず倫理的なジレンマを感じる事も私たちは多々ありますね。そんな時、皆さんはどうしていますか？統合後のスタッフの動きを見、話を聞いて、次のようなことを感じました。

日々のケアは倫理的な判断の繰り返しであり、ジレンマを感じる事や、倫理的な感受性を高めることが重要だと考えています。感じたことを口に出し、ジレンマをチームで話し合うことが、その人にとっての最善のケアにつながり、組織の風土を創ることになります。同じ訪問看護課の中ならば誰に相談してもいいのです。チームで相談して納得いかなければ、あなたが意見を聞いてみたい人に相談し、それをまたチームにフィードバックしたら良いのです。それが太字の意味です。相談していけないことなんて一つもありません。私への相談もぜひどうぞ。「忙しいのにいちいち一つずつそんな時間がないわ」と思ったとしたら、倫理的な課題を抱え、未解決のまま訪問看護をする＝ストレスフルな状況であり、あなたと利用者にとっての「危機」です。倫理的ジレンマを一人一人が放置せず、日々丁寧なケアの積み重ねが、その人の尊厳を支えることにつながるのです。

引用) 松江市立病院 老人看護専門看護師 吉岡佐知子さんの講演から

2018年8月21日(火)

在宅医療・介護連携を推進するための都道府県及び地方厚生局の支援のあり方に関する検討委員会

という、非常に長い研究会の委員を仰せつかり、行ってまいりました。

コアメンバーの先生から「現場に即した意見を一番出していただきありがとうございます」とご挨拶していただき、肩の荷が下りました！医療介護連携に関しては、私なりに培ってきた理念があり、それが役立つならとてもうれしいなと・・・残り数回、頑張ります。

2018年8月20日(月)

9月22日は看護協会ハーモニーホールへ！！

午前中は訪問看護師・訪問介護員の離職防止対策検討会議。9月22日の研修会についての打ち合わせは白熱しました。とっても良い研修会になりそうです！！

センターに戻ってからは今月ずーずーずーずーずーとやっている電子カルテの使い方や要望を業者に連絡し回答をもらい、それを記録に残し・・・。覚えきれない…(笑)

2018年8月18日(土)

兵庫県看護協会職能Ⅱ委員会

看護協会が新体制になって初めての委員会。9月、11月にある交流会、研修会についてしっかりと議論しました。特に、11月は、JNA ラダーに取り組んでもらいたい中小病院や

職能Ⅱの人たちに参加してほしい！ということで、チラシまで作ったけど、アートの才能がない！(笑)

2018年8月17日(金)

コツコツ・・・

電子カルテにしてよかったのは情報共有がしやすくなったことですが、効率化にはなっていません。IT リテラシーに違いがありすぎるのも課題だし、記録そのものに関しても、マニュアル、ルールを再確認しながら書いてもらいたいところですが、現場優先なので難しいかな～の「看護記録あるある」状態です(笑)。でも、みんながラクに楽しく訪問看護を続けられる様にしますよ～！！絶対！！で、「こう書いてほしい記録」の見本と説明のたたきをコツコツ作っています。目が取れそう・・・

2018年8月16日(木)

すべての看護計画を管理者が立案？・・・

大手が発信する訪問看護ステーションの経営に関するブログで、訪問件数をふやし収益を上げるため記録を効率化するスズメが掲載されていました。「計画書は管理者である私が毎月一人で作成しています(評価も含めて)。理由は明らかで、当社は担当制ではなくチーム制を敷いており、「患者へ提供するケアの保証の全責任は管理者にある」と考えているからです。」とあり、驚きました。確かに管理者の責任、という点においてはおっしゃる通りですが、すべての看護のベースである計画書を管理者が決めたら、担当看護師の意見が反映されず、「決められたことをして帰ってくる」処置屋さんになってしまわないか…。

うちではスタッフは利用者さんのナラティブをしっかりと見つめ、その人らしさを維持できるように、看護は何をすべきか、スタッフが語り合い、頭をひねりながら看護に当たっています。時間もかかり効率的でもないし、記録が苦手で時間のかかる人もいますけど・・・
計画立てなくていいから訪問にもっと行って、ってことでしょ？ありえないなあ・・・

2018年8月15日(水)

社会福祉士と看護師の特徴の違い

在宅NST 研究会を取りまとめる担当所長さんが北海道に転勤になられるそうです。来年の会の打ち合わせで来てもらったときにご挨拶いただき、驚きました。全国に営業所のある会社は大変ですね。その後、オレンジサポートの初回訪問をして、そのあとは会議3つ。オレサポの訪問では、看護師と違った社会福祉士の対象者さんへのアプローチの仕方や私の知らない知識を知っている様子を見て、一緒に動けるのって楽しいなあと思っています。

2018年8月10日(金)

E-ラーニングのツールに事業団訪問看護の各種マニュアル一式をアップロードしました！

昨年から所長会で一つずつ確認し、修正を加えていたマニュアル。

一式がアップロードできました。

あらためて見てみたら、ステキ～♥♥自画自賛(笑)

理念、記録、倫理、マナーなどなど。

困った時、迷った時に立ち戻れるものがあるって、大切だと思っています。

2018年8月9日(木)

運営・経営上の課題

年1回、「SWOT分析」「現状と課題」を法人本部とのヒアリングのため提出します。今回は第3次中期行動計画も一緒に提出です。明日が期限なのですが、訪問看護と認知症初期集中支援チームのある認知症支援推進室の分、2種類のタスク。がんばってまーす。

2018年8月8日(水)

オレンジサポートの納涼会でした

認知症初期集中支援チーム(通称：オレサポ)の納涼会でした。

その場所に行くのに、バスに乗ると一番近い、と思って乗ったバスが何故か違うところに行ってしまう、30分も遅刻。「そんなことするんやね?!」と驚かれた私です(汗)

2018年8月7日(火)

統合後、はじめての・・・

これまで3拠点別々で行っていた、主治医宛の報告書、計画書送付を統合したので一括して行わねばなりません。電子カルテシステムを使った方法でやるのも初めてなので、先日からシミュレーションをして、間違いのないように取り組みました。この規模で一括処理をしようとすると、やはり日々、正確な情報入力をスタッフができるようにするしかない!と確信した一日でした。

2018年8月3日(金)

忘れてました!

見てください!クールマックスはいりました~!涼しさが違います。

ほとんど事務所にいる私でさえわかる(@_@)。さわやか~



2018年8月2日(木)

E-ラーニングのコンテンツに入れ込み開始!当課の業務マニュアル

自己学習支援のためにタブレットで見られるコンテンツを使っています。

実はこれがとても優秀なもので、うちのマニュアルを載せられるのです。

1年ほどかけ、元々作っていたマニュアルに所長たちが手を入れてたたきを作成。

この体裁をさらに整え、コンテンツで見やすくする作業中。内容もついでと思って見直しているのが遠い・・・訪問看護経験の浅いスタッフが理念に基づく看護実践をするのに、

役立つといいな。

2018年8月1日(水)

統合後初めての月末月初の事務処理のこと

土曜日の研修会場が冷房効きすぎて寒かった～と思ったら夏風邪で日曜日から調子が悪く、ごほごほ咳も出ていて、マスク着用中。目もかゆいのでアレルギーも出ているかも。

7月に統合して初めての月末月初の事務処理。事務員さんが集合して取り組んでくれますが、課題もたくさんあります。私の役割は「現場でやっていることが評価される」ことを主眼に、対外的に制度やしきみが動くようにすることだと考え、頑張っています。それができるのは、組織で支えてくれる人がいるからなのですが、普段のことは信頼するその人たちに任せ、私が支える役割をしている、と思っています。今回の目の前の課題も、そんな風に乗切れるかな～と思っています。

私の願いは常に「スタッフみんなが仕事も生活も充実できて、楽しく過ごせる」。この実現が理念の実現に必ずつながると信じてます。

2018年7月31日(火)

災害対応マニュアルの編集会議

表参道の日本看護協会のビルにある出版会のフロアで。駅を降りてからたどり着くまで、どこもかしこもこの暑いのに人であふれていて、それだけで疲れました(汗)。

今年はすでに複数の災害が起こっており、刊行を早くという声も多いそうで、前倒しで年度末より早く、を目指すということです。会議も白熱していて、きっと良いものになる予感・・・

2018年7月28日(土)

阪神在宅 NST 研究会世話人と研修会

何年か前に訪問看護ステーションの多機能化モデル事業で管理栄養士さんと取り組み、現在も研究を継続中の在宅栄養管理についてお話ししたご縁で、世話人をさせてもらっています。来年は10周年ということで、これまでにない企画になりそう！

野原先生の講演は是非、病院の人に聞いてもらいたい！武庫川の福尾先生はがんの栄養管理の講演をしてくださり、最も印象に残ったのは、末期の方に高カロリー輸液という選択がなぜだめか、というところでした。

2018年7月27日(金)

増えている、大病院からの早期の訪問看護相談！

退院が未定だけど、今後に向けたカンファレンスを行うので、訪問看護ステーションからも参加を、という連絡が増えているようです。移動や会議参加にはけっこうな時間を要することや、退院されなかった場合には全く収入にならない、ということもあるけれど、何より早い段階から「一緒に考えてほしい」と訪問看護にラブコールを送ってくれる病院が増えてくれるのは悲願でした！！スタッフにもプラス思考で考えてどしどし対応していきます！

2018年7月26日(木)

メディカルケアネット西宮の圏域事例検討会

訪問看護師が受ける暴力に関する研究から、県の訪問看護師・訪問介護員の離職防止対策検討委員会でのマニュアル作成等に至る経緯について紹介を、との依頼を受け久しぶりに参加させてもらいました。事例検討では、多くのグループで「思いを知る」ことの大切さを発表され、さすがと思いました。私からは、経緯のほかに正しい知識と対応が地域づくりにつながる、ということをお伝えしました。また、精神科のドクターから「信頼関係が疾患対応に増して大事」(実際にはもっと詳しく話して下さった)と話がありました。

そう。行為や事象ばかりに気をとられず、理由を知り本人や家族の思いに寄り添える人でありたい。これはずっとの思いです。

2018年7月25日(水)

新採用スタッフとの面談

甲子園の新採用スタッフと面談。小さい子供さんがいる若手スタッフでこれからの期待！住環境福祉コーディネーターの勉強を家事育児の合間にして、試験を受けたと聞きました。すごいなあ。そのバイタリティでどんどんいろんなことを吸収して、訪問看護を楽しんでほしいなあと思います。

2018年7月24日(火)

暑さ対策

若手スタッフに考えてもらっていたのですが、悩みのスパイラルに入ったもよう(笑)。結局、スタッフからの意見を聞くと「スクラブが暑い」が多数。スクラブというのはナースの上着のこと。確かに室内用でいかにも暑い素材。素材も見たい目も涼しいのを買って足すことに。台風が来て去ると涼しくなるかなあ。お品が来たら写真、アップします。

2018年7月23日(月)

学生さんの感想「訪問看護への愛を感じました」

この前の講義で、学生さんから「就職先の選択肢として訪問看護も視野に入れようと思った」という嬉しい感想がたくさんありました。

そして「訪問看護へのやまさきさんの愛を感じた」という感想。けっこうありました。大学の先生から「愛を感じるというコメントは、(親の子どもへの愛はあるかもしれませんが)他の講義ではほとんどありません。山崎さんから、訪問看護への愛がほとばしっていたんですね!」。そうだと嬉しい!訪問看護大好き宣言、いつも講義の時にする私としては。

2018年7月20日(金)

大規模化後初めての納涼会

若い人が増えているうちの訪問看護ステーション。食べっぷりもさすがの若さで、圧倒されました(笑)。「恋バナ」というらしい、恋愛トークも炸裂していました(笑)。みんなが元気に明るく楽しく、仕事を続けていけるよう、私もできることをがんばっていきます。

2018年7月19日(木)

訪問看護師が受ける暴力対策、国での取り組みへ。

関西医大の三木先生からメンバーに連絡いただいたメールです。転記します。暴力対策に何年も関わらせてもらい、市、県、国が動いていく様子を目の当たりにし、かつ、驚いています。暴力対策をきちんとできることは、利用者さんが望めば訪問看護や訪問介護が受けられる地域づくりでもあります。従事者である私たちが、正しい知識を持ち対応できることが、利用者さんの生活を守る、との思いは変わりません。

7/15(日) 7:10 配信 毎日新聞

介護職員や看護師が利用者とその家族からセクハラや暴力・暴言を受けている問題で、厚生労働省は、今年度中に事業者向けの対応マニュアルを作成する。防止策に加え、被害に遭った際の対応策も盛り込む。初の実態調査も実施する。労働環境の改善を図るとともに、職員を集めやすくする狙いもある。

主な調査対象は、ホームヘルパーらが入浴介助など身の回りの世話をする「訪問介護」と、看護師らが服薬指導などをする「訪問看護」。女性職員が1人で個人宅を訪れることが多く、セクハラや暴言などの嫌がらせに遭うリスクが高い。

介護職員の労働組合「日本介護クラフトユニオン」が今春実施した調査では、組合員の3割がセクハラ、7割が暴言や強要などを受けた経験があった。林千冬・神戸市看護大教授（看護管理学）らが2015年度に兵庫県内の看護師に実施した調査では、職場に報告した人のうち17%が「何も対応を受けなかった」と回答。被害への対応に問題のあるケースもみられた。こうした声を踏まえ、同ユニオンや日本看護協会が厚労省に対応を求めている。

被害防止のために2人で訪問するなどの対応をしている事業者もある。厚労省は、こうした取り組みを調べ、マニュアルを作成。併せて調査結果を分析し、次の介護報酬改定（21年度）に向けて必要に応じ対策も検討する。【原田啓之】

2018年7月18日（水）

枚方は遠かったです。

人材育成について、新設の在宅看護のCNSコースで話す機会をいただき行ってきました。枚方があんなに遠いなんて（泣）。暴力の検討会でご一緒している先生が顔を見に来てくださったり、講義に入ってくださいたり。取り組んできた事に、興味を持って聞いていただけ、質問もたくさんいただきました。これからも頑張ろうと思える機会となり、感謝です。

2018年7月17日（火）

スタッフへの伝達事項を整理・・・

集合しての研修会となった明日の事例検討会の準備のため、課長補佐とともにスタッフへの伝達事項を整理・・・うちでは傾聴を継続して学んでいるので「互いの確認が重要」と理解しているので、しっかりとスタッフに理解してもらいたいことが確認できました。

2018年7月14日（土）

新任管理者研修会 司会2日目

全国訪問看護事業協会主催の研修で司会。講師の方とついつい話し込み（じつはこれが楽しみ）、事務局の方が予備に来てくださると言うていたらしく。最後のグループワークでファシ

りして「経験を経てようやく、突っ込んで考え管理ができるようになるんだなあ・・・」という、この当たり前を忘れていたなあ・・・としみじみ。自分の身についていることを、人に分かるよう言語化のは私が苦手とするところ。現場での教育も悩みつつです。全国から150名もの管理者さんたちがみっちり学んだ2日間。私も色々振り返りさせてもらいました。

2018年7月13日（金）

認定看護管理者、合格しました

研修に出してくれた訪問看護課の皆に心から感謝・・・とともに、本当に肩の荷が下りた感じ。です。「またあんな苦勞をしなくて済んだ」というような（笑）。ありがとうございます！関係ないけど、今朝起きたらぎっくり腰症状があり、痛み止めを飲んでやり過ごしました。たぶん、この前の7時間車内閉じ込めがアダに・・・うう。明日、大丈夫かしら。

2018年7月12日（木）

タブレット端末の弊害

便利だけど、真面目なナースたちは、持っていたらついつい見てしまうみたいで・・・。この猛暑、当番じゃない日は、夜ゆっくり休もうね！夏バテしちゃうよ～

2018年7月11日（水）

理念を現場の事務員さんにも伝えていく

大規模化による事務作業やこまごましたことの変更にあたって、今日は確認のために、現場の事務員さんたちと、課題洗い出しや共通認識の機会でした。事務員さんは看護師が気付かないようなこまごましたことを担ってくれる、頼りになる存在。訪問看護課の理念を理解したうえで、一緒に働いてもらうことが大事だと、ずっと思ってやってきました。ここ数年で拠点が増えましたが、各拠点の責任者たちが同じように継続してくれていると思います。

2018年7月10日（火）

大学で講義

毎年、「訪問看護の実際」として看護学部3回生に講義させていただいています。学生さんのレポートが毎回素晴らしすぎて驚きます。2コマの講義でこんなに理解できる人ならぜひうちにと（笑）いつも思っています。先生に伝えたら今の若い人は文章を書かせると本当にしっかりと書くけれど、喋らせるとうまく伝わらないとのこと。へえ～意外です。

2018年7月9日（月）

日常が取り戻された

このたびの大雨で被害に遭われた方におくやみとお見舞いを申し上げます。日に日に被害の甚大さが明らかになり、心がざわざわしてしまいます。しかし、まわりでは通常通り電車も動き、センターも通常通りの動きになっています。今日は、新しい事務員さんに訪問看護事業のレクチャー、副所長からの各種相談や文書作成や修正、認知症初期集中支援チーム員会議、パンフレット印刷の打ち合わせなどで一日あっという間でした。

2018年7月6日（金）

梅雨前線に伴う大雨の対策

昨日から各地で警報が頻発しています。電車も不通になっており、車で出勤。予想以上に混雑しており、車中でスタッフと利用者さんの安全確認・確保についてと、長期化に備え重症者さんらへの対応準備など、確認の line メッセージを各拠点の所長に送りました。それぞれの所長たちはスタッフと共に、子供さんの学校がお休みになったスタッフや出勤できないスタッフの訪問調整や、独居などで気がかりな利用者さんへの連絡をしていました。避難勧告区域もあったものの、避難された利用者さんも幸いおられない様子。今回わかったのは、南側と北側で道路の水はけ状況が異なること。甲子園の方はバイクや自転車での移動は危険が伴う、とスタッフと相談し対策をとってもらいました。いずれの拠点でもほぼキャンセルなく対応、逆に利用者さんが「あら、今日はお休みかと思った」と反応があったそうです。

電車不通になる中、私も三宮方面のスタッフ 2 名を送り届けるべく 18 時過ぎに退社。しかし、三宮周辺到着は 22 時過ぎ、さらに自宅到着は深夜 1 時過ぎ・・・車中ではプライベートのことを話題にしたり、災害対応に関して入職 2 年未満のスタッフへの周知が課題と考えていることを話しました。

普通の生活ができるって、当たり前じゃないんですねえ。改めて。

2018年7月4日（水）

認知症対応力向上研修の企画

推進員さんとオレンジサポート合同でやりましょう、と相談している研修。

今日は、西宮市の人も入って具体化しました。ここでもそれぞれの考え、伝えたい意図、受取手の考え、伝わっている内容の確認をしながら、進めていく事の必要性を痛感しています。

2018年7月3日（火）

傾聴スキルを活かす

傾聴スキルの講座を受けていることは、前にこちらでお伝えしました。それでも、確認不足や思い込みから起こっているであろう課題に一つずつ向き合い、解決に向け取り組めるよう、課長補佐と話し合いながら具体策を練っています。2 人の間でも同じようなことが起こります。常に傾聴は課題ですね。

2018年7月2日（月）

西宮市訪問看護センターが機能強化型訪問看護ステーションⅠとして再スタート

今日から2サテライトを要する機能強化型訪問看護ステーションとして再スタートします。大規模化によるメリットを最大限生かし、利用者さんにタイムリーで安心な訪問看護が提供できるよう、スタッフ一同、頑張っていきます。

2018年6月29日（金）

新卒訪問看護師の実習開始ご挨拶&プライベートで旧知の友人と食事に

7月より3人目の新卒訪問看護師が病棟実習にうかがうため、打ち合わせとご挨拶に。

病院の体制変更で教育担当次長さんも初対面。過去の新卒訪問看護師が病院スタッフと懇意にさせてもらっていたり、指導者の方に気にかけていただいたり、病院実習での学びを訪問看護実践に大いに活かしていると言う当事者たちの話を伝えたら、とても喜んでもらえました。

夜には本当に久しぶりに会えた友人と美味しい食事とワインを楽しみました。友人、と言っても仕事で意気投合して仲良くなった同い年の看護職。本当にステキな人で、部下は安心だろうな～といつも思います。じつは、病院での退院支援カンファレンス参加や看看連携研修は、この人と一緒に取り組んできたものが、継続した取り組みになったもの。近況やこれからの展望、たくさん話しました。彼女は異動でこれまでにない経験をしているようですが、次の重要な役割を担うためだろうなと勝手に想像し、応援しています。

2018年6月18日（月）地震時の対応まとめ

当日書けなかったので、改めてまとめてみました。

7:59 通勤中、地下にいて揺れを感じ、緊急警報が鳴り響く。すぐに当課の管理職グループ line で状況確認しようとするが文字入力できない。スタンプ送信。10分程度で文字入力可能に。電車は運転再開の様子がなく、すぐに近くの大学病院まで向かってタクシーに乗り、自宅に戻って車で出勤。さすがに混んでいて10時ごろ到着。車中でも管理者たちと line で連絡取り合う。大きな被害はなく安否情報も地震直後より、スタッフから続々送られている、と報告あり。子供さんの休校があるスタッフは休み、呼吸器装着者の安否確認、訪問は出勤したスタッフで調整、など、サクサクと必要なことに取り組んでくれていました。

高槻出身のスタッフに声掛けをしたり、看護協会の職能委員会のライングループで情報共有したり。個人情報ではない情報交換にラインでのやり取りはタイムリーで良かったです。

あとで所長たちと振り返ったこと

- 平成 24 年度の訪問看護ステーションネットワーク西宮で取り組んだ、災害対応マニュアル作成にかかる一連の研修を継続していたので、大きな助けになった。
- 訪問看護ステーションネットワーク西宮の管理者会議では、災害対応の取り組みを継続しているステーションは当課のステーションのみだった。
- この研修に参加できていない、入職 2 年未満のスタッフに災害対策の教育が必要。

今回の地震では阪神淡路大震災のような大きな被害はなかったものの、被災経験者は思わず体が固まってしまう、フラッシュバックでパニックになる、などの反応も少なからずあったそうです。わたしたちにできることは、非常時にもなるだけ早期に通常業務を取り戻すこと。そのために必要な備えを、引き続き、さらに、日常的な取り組みに落とし込んでおかないと、と改めて感じました。

2018年6月28日（木）

兵庫民間病院協会 看護部長会で話をしました

午前中は事務員さんと面談のため移動。

午後からフロンテで標記の研修会に登壇させていただきました。

阪神西ブロックの民間病院の看護部長様ばかりの研修会で、テーマは

「訪問看護師から見た在宅支援の現状について」。

ここでも、職能集会同様、看看連携にもっと目を向けて看護課題の解決を、というところに

絞った話を。

退院直後の 2 週間、特別指示書による訪問看護が普通になるために、トップマネジャーの皆さまがぜひ、訪問看護ステーションに実習に来てください！とお伝えしました。

実現すると、絶対地域が変わるはず。

「誰もが住み慣れた場所で最期まで過ごせる」そんな地域にです。

2018年6月27日（水）

なんだか疲労が

先週からバタバタとして疲れているなあという自覚があります。

でも7月1日を無事に迎えられる様、頑張らねば。

というわけで、今日は午前が認知症初期集中支援チーム員会議。ここで懐かしい人にあいました。昔うちで訪問看護師をしていた人が、よそで包括職員になっていて、再開をひとしきり喜び合いました。午後からは再々のステーション大規模化にかかる確認。

そろそろ、頭が回らなくなってきた・・・

2018年6月26日（火）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル編集会議

新幹線では木曜日に登壇させていただく際の資料作成と、今日の会議で使う資料や提案する内容のチェックをしていたらすぐでした。予定時間を30分オーバーし、充実した会議になりました。タイミングがいいのか悪いのか、18日の地震の時にどのように対応したか、という話題提供もできました。うちは、前回のマニュアル作成にも関わらせてもらった、阪神淡路大震災の被災ステーションです。20年以上になってしまいましたが、そのあとの取り組みを、まだ取組んでいないステーションが知って活用したいと思えるよう、編集・執筆に当たります。

2018年6月25日（月）

7月1日に向けた最終確認中

以前よりここでもお伝えしていますが、7月1日より機能強化型訪問看護ステーションⅠとして、サテライト事業所2か所を併設し再出発します。その最終確認にこのところ、ずーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーっと、とりかかっています。頭の整理が追い付きません。

2018年6月22日（金）

オレンジサポートのWEB会議

認知症初期集中支援の新規依頼が増えてきたので、朝のカンファレンスをするということで、場所の離れた私も毎朝参加できるように、とお試ししていたWEB会議。良し悪しがあり、結局、朝の会議をやっていないということで、導入は見合わせました。移動コストと会議の効果を天秤にかける、って経験をしました ☺

2018年6月21日（木）

兵庫県看護協会職能集会Ⅰ・Ⅱ

病院から地域に期待すること、地域から病院に期待すること～訪問看護の立場から～として、登壇の機会をいただきました。発言時間は15分。看看連携に絞って絞って・・・話しました。伝わっているといいなあ。

シンポジスト4名（県監理部長、看護部長、包括看護師と私）で昼食をとらせていただき、振り返りもできました。

2018年6月20日（水）

全国訪問看護事業協会理事会、総会、暴力研修会、都道府県ST協議会交流会、そして兵庫県看護協会職能Ⅱの懇親会

やたら長いタイトルは、本当に長い一日だったから。でも充実していました。

往復の新幹線（昨日今日）では明日の職能集会で登壇するための資料の変更を、しぶとく（？）やって、あっという間に3時間弱過ぎました。

職能Ⅱの懇親会では、卒業の方を送り出しました。せっかくお近づきになった施設のトップマネジャーの皆様。きっとこれからも何かあれば、連絡させていただきます。寂しい～

2018年6月19日（火）

ケアマネジャー更新研修

今日は座学。在宅医療をされている医師が講師になっている单元での話。

「ケアマネジャーはこんなことをすべて覚えようとするのではなく、きちんと在宅医と訪問看護師に分からないことを聞きなさい」と繰り返し言われていました。

そう！うちでもケアマネの良き相談者になろう、と言い続けています。そうってるかな？

2018年6月18日（月）

怒涛の1週間のはじまり

今週、ここに来るのは2日だけ。ケアマネ更新研修、出張、職能集会での登壇が重なって、悲しい・・・

2018年6月15日（金）

群馬からの来客

高崎保健医療大学講師で診療情報管理士指導者のO先生が災害時の話を聞きにお越しくださいました。初対面でしたが「ほぼ同級生」だからか話が弾み、災害だけでなく請求業務のあり方に関する意見でも意気投合。1時間の予定が2時間半にも。楽しく貴重な時間でした。

2018年6月14日（木）

障害者相談支援センターの相談支援専門員さんと

事業団の訪問看護に医療的ケアのある小児患者さんをつなげてくださったご縁で、かれこれ20年くらいのお付き合いのあるMさん。利用者さんのカンファレンスで来てくださり、私にも会いに来てくださいました。西宮の障害児対応と言えばこの人。ものすごく久しぶりに元気な顔が見られて、嬉しかったです。

2018年6月13日（水）

傾聴スキル講座

午前中は訪問看護課の正規職員が定例的に受けている傾聴スキル講座。

これを始めてから、徐々にですが、職員は相手が何を求めているのか、コアになるところに気付くように。また、各々が自分のコミュニケーションの傾向を客観的に振り返るようになっていきます。私自身、毎回多くの気づきや学びがあります。今日もそうでした。

2018年6月11日（月）

認知症支援推進室としての仕事一色の日

午前中は西宮市の認知症関連会議。課題を共有し、対策が出てきました。

午後からは認知症初期集中支援チーム員会議。司会の役割なのですが、ちょっとずつコツがわかってきました。

認知症支援、ほんとうに大切に、課題も多くて、訪問看護同様にやりがいを感じています。

2018年6月9日（土）

訪問看護師が受ける暴力対策検討会

今日は有志で続けている会合。かれこれ4年ほどになります。

暴力チェックリストの検討と、事例検討をしました。

医師、訪問看護師、臨床心理士、弁護士、薬剤師、介護福祉士、大学教員が集合し、多様な意見交換をしています。集中したので終了後はボーっとしました（笑）

2018年6月7日（木）

ケアマネジャー更新研修

昨日、今日の2日間、グループワークでびっちり演習でした。

6人のうち3人が看護職で病院の看護部長さんまでおられました。

素敵と思ったのは、「退院する人だれにでも訪問看護は必要」と述べてくださったこと。

トップマネジャーがそうした意識を持ってくだされば、地域は変わると思います。

2018年6月5日（火）

健康診断

毎年の職場健診。いつもだいたいA判定の健康優良児です。

ただ、去年、加齢のためか中性脂肪が急激に上がっていたので、何が原因だったのかと、気がかりでした。今年はどうかなあ。採血が痛くて嫌でしたが仕方ない。

うちの新卒さんの練習台になってもいいのですが、それもちょっと怖い気も（笑）。

2018年5月31日（木）

久しぶりの現場♪

訪問に出たいけど管理職なのでなかなかその機会を作れません。

今日はオレサポの対象者のお宅に訪問しました。雨降りなのでカッパを着て電動自転車で。

スタッフが「ええっ!？」と意外そうにしていました。私はほんとは現場が大好き。管理職の仕事も訪問看護のいろんな役割の仕事もうっちゃって、いろんな人のお宅に訪問に行っていたい。今日、利用者さんと話できて、楽しかったなあ。管理職の仕事は増えることがあっても、減ることは全然なし。看護管理も面白いです。

2018年5月30日(水)

訪問看護 WEB 会議

うちのU補佐が一昨年からWEB会議WEG会議、と言っていました(笑)。そしたら、デイサービスで使っている物を貸していただけることに。

デイサービス担当の事務方さんに、ずいぶんと助けてもらっての初トライでしたが、「あれ。もうこんな事までやってる。すごい。」と、所長たちのスピード感とチャレンジ精神を褒め(?)てもらいました。

あまりいいイメージは持っていなかったのですが、移動せずに顔を合わせて話をする目的は、8割がた、かなうかなあ、という感じ。文明の利器ですねえ。でも高いなあ(笑)。

2018年5月29日(火)

今日思ったこと

看取った父は、レビー小体型認知症だったので、認知症がある方を支えるご家族の苦労は本当に、他人事とは思えない私です(過去ブログに詳細あり)。今日ご相談にみえた方も、すぐにでも支援が必要と感じました。が、悲しいかな、訪問看護は指示書があるし、指示書なしでできることからだけでも、と言っても限られます。

色々な相談窓口があちこちにありますが、どの窓口にも相談するにしても、タイムリーな支援をいかにできるかが鍵です。タイムリーにできなければ、10の価値が1とか2になることも、珍しくありません。なんだかなあ、です。訪問看護経験者が対応する一本化された窓口が標準になればなあ。

2018年5月28日(月)

オレンジサポート(認知症初期集中支援チーム)チーム員会議の日

新しいご依頼が増えていきます。チーム員会議では新しく関わり始めた方について、担当の地域包括の方にも来てもらって、認知症サポート医の先生と今後について検討し、役割を決めていきます。初期集中支援は6か月が目安で、適切な医療と支援につなぐことが大切な役割なので、この会議はとても重要。進行を担当していて心を砕くのは、包括(又はケアマネ)が思いを出せて経血の方向性が見いだせたか、疑問を多く残していないか、ということ。限られた時間の中ですべてが叶うことは難しい。でもそこを可能にできるよう、努力中です。

2018年5月24日(木)

委員長さん実習最終日、そして県訪問看護ステーション連絡協議会理事会

午前中は委員長さんとゆっくり色々な話をさせていただきました。

多様な視点からのご質問にお答えすることで、改めての学びがありました。そして、「医療機関の部長さんたちにぜひ訪問看護を見に来ていただきたい」と、お伝えできました。これ

は、看護部長さんにお会いする機会があるたび、お伝えしてきた事です。委員長さんが実習に来てくださったことで、私の念願がまた一つ、叶いました。
お昼からは表題の会議に参加。今後の課題を深く考える機会となりました。

2018年5月22日（火）

職能Ⅰの委員長さんが訪問看護実習に

来てくださっています。看護も看護管理もご経験豊富な方なので、私が指南を受けたいのが本音のところですが、訪問看護の魅力とか課題を知っていただけたらいいなと思います。それと、昨日、インターンシップに来てくれた際に、小一時間ほど話した看護師さんからサンキューメールが。「この度のインターンシップを通し、看護師として勤務した上で訪問看護をみることができ、訪問看護に対する興味がより一層深まりました。私もステーションの皆さまのように、その人らしさを地域で支援できる看護に携わって参りたいと考えます。」って書いてくださっていました。うれしいです～

2018年5月21日（月）

兵庫県訪問看護師・訪問介護員が受ける暴力対策検討会議

今年度第1回の会議でした。昨年度の青果物「暴力対策マニュアル」「ポスター」「リーフレット」の完成版が配布され、県の担当課長より「この1年間であらたな成果を」とご挨拶が。メンバーも去年と一緒だったからか、活発に議論がすすみました。電話相談も少しずつ増えているそう。大切な役割です。今年も頑張ります。

2018年5月18日（金）

兵庫県看護協会職能Ⅱ委員会&事務職員さん送別会

6月の総会に向けた、職能Ⅰ・Ⅱの合同打ち合わせ。こんなふうに、総会や研修会などの準備を、忙しい人たちがしてくださっていたことを、この委員会に出てから初めて知りました。医療機関では当たり前でも、訪問看護ステーションではそうでないこと、たくさんあります。夜は4月に異動した訪問看護担当事務職員の送別会。〇所長お気に入りの場所で、おいしいお食事をいただき、ゆっくりしました～

2018年5月16日（水）

毎年恒例の写真撮影

全体研修会で毎年恒例の集合写真を撮りました。
全員集合してにぎやかでした。



西宮市社会福祉事業団 訪問看護課 平成30年5月16日

2018年5月15日(火)

認知症関連会議

今朝は、西宮市の認知症に関連した取り組みに関する、関係者が集まる会議でした。今日のテーマは認知症初期集中支援チームにがっつり関連した「早期発見・早期対応」についての協議でした。これから具体的に進めるべきことの相談・競技もでき、有意義でした。

2018年5月14日(月)

インターンシップの申し込み

ホームページを見てインターンシップを受けてみたいと連絡がありました。病院で勤務していて将来は訪問看護をしたい、とっていたそうです。日本看護協会が推進している出向制度も条件が合えば、使ってみたいなあと思います。うちは医療法人でない分、人材確保の工夫はすごく必要なので・・・

2018年5月11日(金)

新人訪問看護師基礎研修

全国訪問看護事業協会主催の標記研修。グループワークのファシリにってきました。参加者は何と160名。医療機関内の異動で訪問看護師になった人も多く、病床機能再編の波がここにも。新卒者の参加も複数あり、新卒育成の広がりも感じました。嬉しかったのは、病院から訪問看護に移動した人たちが「生活が見えていなかったことに気付いた」と口々に言われていたこと。ぜひそれを病院の仲間と共有し、退院支援に生かしてほしいですね。ファシリした4つのグループすべて、手上げして成果発表されました。

さすが大阪と講師 談(笑)。

2018年5月10日（木）

連携ツールの試用開始といちごのおくりもの

ICTを活用した情報連携ツールの説明をしに来ていただきました。
たのしい！べんり！所長たちは（私もですが 笑）ノリノリでツールを試していました。
使い方のイメージはできています。みんなが混乱せず活用できたら、助かりそう！楽しみです。
会議を終えて席に戻ると、みんなの席に真っ赤な大きいイチゴがたくさん！ 2年目新卒Nさんのおばあさまの趣味の畑から、「みんなに」と大量におかあさまが運んでくださったそう。朝摘みの新鮮なイチゴはツヤツヤでキラキラしていました。お二人で時間をかけて摘んでくださったのかと思うと、ほんとうに感激です～。

2018年5月9日（水）

ケアマネジャー更新研修

4日目になります。今回は実務研修と一緒の会場でおそらく1000人はいたのではないのでしょうか。看取りのケアプラン作成に関する講義でした。訪問看護をしていた地域包括支援センターの看護師、ということで、実例を豊富に紹介されつつ、ケアマネジャーにとって重要なポイントを話されました。

2018年5月7日（月）

今年入職の3人目の新卒看護師ブログ

連休に入る前に3人目の新人さんのブログをアップしてくれました。
タイトルが「3代目新卒訪問看護師」。私の世代では3代目といえば〇〇ぐみ、ですが（笑）
20～30代は「ジェイソウルブラザーズ」だそうです。ジェネレーションギャップ!?

2018年5月2日（水）

ここでの看護実践を外からの目で見ってもらうこと

29年度は9名がインターンシップを経験しに来てくれました。
30年度は4月に1名、そして昨日問い合わせのあった方で2人目です。
当センターにはこのインターンシップや看護大学・看護学校の実習生さんをはじめ、医学生、認定課程で学ぶ看護師、大学教員、看護協会の関係者の方々など、ほんとうに色々な方々が実習に来てくださいます。「看護実践を外からの目で見ってもらうことが、独りよがりの訪問看護でなく、利用者さんに寄り添う訪問看護につながっていく」という設立時からの考え方を。これからも引き継いでいきたいと思います。

2018年5月1日（火）

メンターの役割として

新卒者や入職3年未満のスタッフへのOJT。管理者やチーフ、現場のスタッフのみんなが担ってくれます。私は援助、助言、相談を受けるというメンターとしての役割を担っています。これがとても新鮮！楽しい！私自身がどう伝え、どう投げかけたら効果的な支援になるのか、反応を記録や実践を通して確認しながらやっています。
どんどん相談に来て、考えて、自分自身の引出しを増やして行ってほしいなと思います。

2018年4月27日（金）

インクルーシブ教育実現に向けて…

重症心身障害児施設のコーディネーターさんが来てくださいました。

長年お付き合いはあり、相談ごとなどのやりとりもしてはいますが、ちゃんとした形で意見交換をするのは初めて。県が医療的ケアの支援関係者連絡会議を立ち上げたことや児童デイの動きなども教えてくださいました。知らないこともまだまだたくさんあって、学校への支援開始をきっかけに、コンフリクトの解消も視野に入れ、やるべきことを見極めてしっかりやっていきたいと思います。

2018年4月26日（木）

認知症支援推進員さんとの会議

去年から認知症初期集中支援チームの委託を受けての業務を行っています。その中で、これまで市内で認知症支援を推進してこられた推進員さんとの会議を始めました。

今年度の取り組みとして、支援者支援を考えています。今日はその具体の打ち合わせ。

それぞれの立場で大切にしている想いを重ねて、良いものにできるといいなと思います。

2018年4月25日（水）

新しい事務員さん

今日は5月から一緒に働いていただく事務員さんのことなど、ほぼ一日中人のことで走り回っていました。新しい仲間との出会いは楽しみでもあります。訪問看護の事務さんは、利用者さんやケアマネ、主治医、病院等々との電話対応や請求業務のための種々の書類作成や確認作業、送付作業等々、ほんとうに多岐に渡り大変ですが、とてもやりがいのある仕事だと思います。しかも！訪問看護制度のことがよくわかり、身内の介護にきっと活かせます。

2018年4月24日（火）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル 編集委員会



この本は第2版。第1版は阪神淡路大震災の翌年発行（絶版）。この2版を再編集して発刊することになり、今日はその初回打合せでした。

阪神淡路大震災のあと、全国あちこちで大きな災害が続いたことから、今回の編集委員兼執筆担当は東北から九州まで、過酷な経験を乗り越えられた管理者さんたちが集合。それぞれの熱い思いがたくさんあり、意見交換では時間が足りないほど。というわけで次回はちょー！時間の会議とあいなりそうです。準備だあ・・・やること山積（笑）

2018年4月23日（月）

新たな教育体系の可視化

29年度には新たに7人の訪問看護師が仲間になりました。4月には3人目となる新卒ナースも入職しました。これまで実践してきた教育体系を見直し、看護実践力とアセスメント力向上、そして理念の理解や倫理課題への対応強化が図れるような教育体系に見直しました。それを可視化しようと奮闘しています（汗）。

2018年4月20日（金）

今日もバタバタ

午前中は、医療的なケアのある子供さんの通学支援に協力し始めている関係で、教育委員会の方と今年何回お会いしたかしらというくらい、何度目かの面会。通学が軌道に乗っていることをとても喜ばれている様子が見てとれ、やっぱりもとは先生なんだなあと…。

毎月2回程度のチーム員会議。司会をしています。新規事例が多く、関係者に参加していただき事例検討を深めると、時間が足りなくなってきました。考えねば。

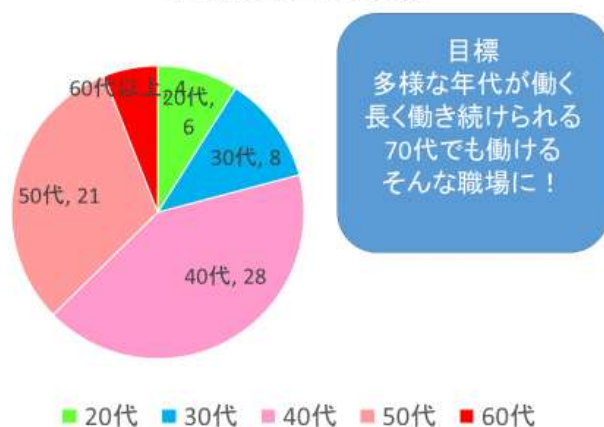
2018年4月18日（水）

今年度最初の全体研修

例年、年度の1回目の全体研修では、統括所長の立場からの話をさせていただきます。主には、当訪問看護ステーションの理念とその実現のためにスタッフに臨むことを、社会背景や制度、実績データを交え伝えます。今年は同時改定もあり、組織の新たな編成にも取り組み…と忙しく、準備がギリギリ間に合ったというところ。それでも、スタッフの感想を見ると、伝わったかなと嬉しく思います。

参加できないスタッフのためにビデオ撮影してくれるなと思いきや、「課長のところ、撮れてなかった！」とスタッフから連絡。いいのよ～。ちゃんとしてねと伝えとききました（笑）。スライドは、年齢別スタッフ数。平均年齢が一昨年より9歳近く若くなったこと、70代でも働き続けられる職場を目指していることを最後に伝えたときに、わーって盛り上がりました。厳しい話もさせてもらった中、最後は笑顔で終わられ良かったです（^^）

年代別のスタッフ数



2018年4月17日（火）

今年度最初の所長会

制度改定や組織変更の対応で多忙中の所長会。これからのことについて確認、話し合いま

した。それよりインパクトがあったのは実習のご挨拶に来られたある大学の先生。前任の先生と交代され初対面でしたが、「大阪人の特徴で・・・」とおっしゃるごとく、そのパワフルなしゃべりがまるで芸人さんのようで、頭の回転の速さがそのまま表れているような…。実習に同伴くださった時にまた、お会いできるのが楽しみです！

2018年4月16日（月）

訪問看護課の平均年齢

年度最初の全体研修では、いつも訪問看護課の目指す方向について話しています。資料作成で表題の件、計算しましたら 41 歳！数年前に出した時よりめちゃくちゃ若返っています。多様な年代が働く・長く働き続けられる・70代も働ける・そんな職場に！といつも思ってます。

2018年4月13日（金）

あたらしい「いずみ園」

当法人の障害者自立支援施設が、新築移転するに当たり内覧会にうかがってまいりました。

当法人HP いずみ園のページより

人には、だれでも明日の数だけ“可能性”がある――

いずみ園は、知的障害のある人たちが地域社会の中で、それぞれが思う生活を送るために必要な支援を行っている施設です。

これが実践して行きやすそうな素敵な施設でした。きれいでいいな～。

2018年4月12日（木）

認知症初期集中支援チーム（オレンジサポート）新年度初めての打ち合わせ

新しいメンバーが入って初めての打ち合わせ会議。今年度の役割分担や目標の確認をしました。私はチーム全体の調整や行政等との折衝、事例へのスーパーバイズなどが役割。社会福祉士と看護師が動く支援・実践は、当然ながら看護実践要素も多く含まれています。観察とアセスメントとコミュニケーションがとても重要となるこの事業。チームで動くことや、看護実践のあるところには看護管理が必須と捉え、取り組み中です。

2018年4月11日（水）

訪問看護のレク

事務局長に訪問看護についてのレクをさせていただきました。

社会保障と税の一体改革やプログラム法の説明もしなきゃと思い、資料を準備したらすごい量に（笑）。使うところは少ないんだけど・・・。

近しい方が訪問看護の利用経験がおりとのこと。

喜んでもらえていい仕事だね～とおっしゃってましたが、ほんとそうです！

2018年4月9日（月）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル 第2版

「訪問看護のステーションの災害対策」（日本看護協会出版会：2009年発行）の第2版改訂版の編集が始まるそうで、再び編集委員のご依頼をいただきました。

全国訪問看護事業協会・高砂様よりご連絡をいただきました。

編集会議がさっそく4月24日にあります。平成24年度に市の危機管理局と訪問看護のネットワークで災害対応マニュアル作成等、一連の災害対策の取り組みで知ったことや気付いたこと、役に立てたらいいなあと思います。

2018年4月6日（金）

ケアマネジャー更新研修3日目

午後からの講師は知り合いでしたが、講義している姿は初めて見ました。

介護保険に関わる支援者に「利用者は支援を受けるために存在しているのではない」ということを投げかけ、考えさせる講義。マクロとミクロの視点をうまく汲み合わせ、気づかせるしかけに。みんな引き込まれていました。すごいな～。

彼のポリシーは「要介護状態になっても、『人生そんなに悪くない』と思ってもらえるような支援」。

あとで声かけると、彼の隣にいた人が「カリスマ講師ですからね」。どうりで！

2018年4月5日（金）

ケアマネジャー更新研修2日目

今日はグループディスカッションが多く、充実していました。

「本人と家族の思いがすれちがっています。どうケアマネジメントしますか？」など、現場あるあるを話し合います。権利擁護、代弁、アドバンスケアプランニング。

いずれもずー——————と訪問看護課で大切にしていること。

「最期まで住み慣れた場所で過ごせる地域づくり」理念を叶えるには、その人自身の思いがどうなのかを抜かしてはならないと思っています。が、本人と周囲の理解や思いがピタリと重なり合うことは少ない。だからこそ、ベストに近いベターを選択してもらえるように……。

2018年4月4日（金）

ケアマネジャー更新研修1日目

今日から3日間の更新研修に参加させてもらっています。全部で10日間も！

ケアマネ業務をしていない人ばかりの研修でしたが、会場いっぱい500人くらいが参加されていました。

倫理、アドボカシーは訪問看護においてもとくに心を砕く点。ケアマネジメントはますます医療との連携が重要視されていますので、訪問看護師はケアマネへの支援をこれまで以上に行う必要があります。

しかし、訪問看護の役割って多職種にあまり理解されていないなあ・・・（悲）

2018年4月3日（金）

新卒さんへのオリエンテーション

今日は半日、私からオリエンテーション。3月入職のナースにも入ってもらいました。一日一日をていねいに、一つ一つの経験を自分のものにしていく努力を期待していることを明確に伝えました。1年ずつ3年間努力すると、どこでも訪問看護できるはずですよ。自分の役割やできること、努力が必要なこと等を考えてもらいながら、私が大切にしていたこと、大切にしてほしいことも伝えることができました。レポートにどんなことを書いてきてくれるのか楽しみ～。

2018年4月2日（月）

新年度です。

平成30年度が始まりました。

訪問看護課では新卒看護師1名が入職。

新たな体制として、重症化予防がますます大切になることを踏まえ、甲子園拠点をリハビリテーションと予防を重点化して展開することとしました。これに伴い、機能強化型の西宮拠点は、退院直後の状態安定化の支援が必要な方や、中重度の方、がん、非がんの方、医療的ケアの必要な子供さんのケアを中心に行います。

新たなステージのスタートです。